



HALAL

日本および東南アジアにおける ハラール食品マーケットの 最近の動向と取組

平成30年 1月19日(金)

東京農業大学・世田谷キャンパス・横井講堂 (アカデミアセンター地下1階)

13:00

はじめに 東京農業大学 学長 高野克己

13:10

基調講演 「イスラーム食品市場の概況～食品輸出に向けて～」
日本貿易振興機構(ジェトロ) 農林水産・食品部 農林水産・食品課 調査チーム
課長代理 籠瀬明佳氏

14:30

特別講演1 「当社におけるハラール認証の取組」
興人ライフサイエンス株式会社 発酵事業部 マネージャー 山下裕隆氏

15:05

特別講演2 「インドネシアにおける最近のハラール認証」
ボゴール農科大学 講師 Suryani S. Said氏

15:40

特別講演3 「マレーシアにおける最近のハラール認証」
プトラマレーシア大学 教授 Russly A. Rahman氏

16:15

特別講演4 「東京農業大学における食品成分によるハラール検査の試み」
東京農業大学 生命科学部 教授 田中尚人

16:50

終わりに 東京農業大学 総合研究所 所長 山本祐司

17:00

名刺交換会

■世田谷開催・お問い合わせ■

- 主催 東京農業大学 総合研究所 ハラール研究プロジェクト(研究代表者 久保田紀久枝教授)
- 東京農業大学総合研究所 東京都世田谷区桜丘一丁目1-1
- ☎ 03-5477-2532 Fax:03-5477-2634 Email:halal-info@nodai-rs.net 交通アクセス:<http://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/>

★札幌でも開催!★

- 開催日時 平成30年1月20日(土)13時～
- 会場 ACU-Y(読売北海道ビル 3F)
- お問い合わせ先 東京農業大学オホーツクキャンパス事務部 総務課
- ☎ 0152-48-3810 Fax:0152-48-2940 Email:halal-sapporo@nodai-rs.net

平成 29 年度 総合研究所ハラール研究プロジェクト主催シンポジウム
「日本および東南アジアにおけるハラール食品マーケットの最近の動向と取組」

講演要旨

演 題	イスラーム食品市場の概況～食品輸出に向けて～
講 演 者	日本貿易振興機構（ジェトロ）農林水産・食品部 農林水産・食品課 調査チーム 課長代理 籠瀬明佳氏
要 旨	<p>主に、日本からの食品輸出の観点で「ハラール」「ハラール認証」についての基礎情報、主要な国の市場の実態等に関し、企業の取り組み事例なども交えて報告する。</p> <p>プロフィール 1999 年 日本貿易振興機構ジェトロ入構。 主に、貿易投資白書の執筆、ASEAN 各国の産業育成支援、新興国への中小企業の海外進出支援などの業務に携わる。 2012 年より、現職にて、日本の農林水産・食品の海外輸出に向けた各種調査を担当。</p>

演 題	当社におけるハラール認証の取組
講 演 者	興人ライフサイエンス（株）発酵事業部 マネージャー 山下裕隆氏
要 旨	<p>当社は各種加工食品の調味料原料として使用される酵母エキスを製造しており過去から海外展開を視野に入れ MUI より Halal を取得している。現在では海外ビジネスの拡大のための必須事項となっている。2020 年に東京オリンピックが開催されることもあり近年インバウンド特にアジア（イスラム圏）からの旅行者が増大し Halal レストランも空港、都心でも見受けられるようになった。そのため日本での Halal の認知度も高まりますます Halal の重要性を認めるようになった。今回は一企業として HAS（ハラール保証システム）の運用による Halal 認証への取組を紹介する。</p>

演 題	インドネシアにおける最近のハラール認証
講 演 者	ボゴール農科大学 講師 Suryani S. Said 氏
要 旨	<p>ハラール製品は、現在だけでなく将来においても多くの課題を抱えるムスリムの基本要件である。世界のムスリム人口が急速に増えているため、世界市場の動向としてハラール市場（流通網）の需要が増加している。さらに、食品、医薬品、化粧品、その他の複雑な成分を含む商品のための製品技術開発は、製品のハラールの状況に影響を及ぼす。インドネシア協議会の下で、ハラール認定製品の要件を満たすため、インドネシア評議会の食品、医薬品および化粧品評価（AFDC / LPPOM MUI）は、11 の基準に基づいてハラール保証システム（HAS）を確立しており、ハラール製品の生産は、科学的、宗教的な視点に基づいて行われている。HAS は、インドネシアにおけるハラール認定の主要要素として、使用される物質、生産プロセス、製品、人的資源、および手順をカバーしている。</p>

演 題	マレーシアにおける最近のハラール認証 ～ハラール製品の信頼性と完全性の保証：マレーシアでの事例から～
講演者	プトラマレーシア大学 教授 Russly A. Rahman 氏
要 旨	グローバルビジネスにおいてハラールには大きなポテンシャルがある。ハラール製品（食品/非食品）の加工および製造では、現在の技術は、許可されたあるいはハラールの原料をトイバンまたは健康的で安全な製品を生産することに利用することができる。生産現場から食卓まで一貫してハラールに適応したシステムに則って製造・販売されるハラール製品の完全性を保証するためには、ハラール認証の取得、認定、基準、分析、教育やトレーニングといった一連の仕組みが整っていないとてはならない。

演 題	東京農業大学における食品成分によるハラール検査の試み
講演者	東京農業大学 生命科学部 教授 田中尚人
要 旨	ハラール認証には、その試料に禁止素材や成分（ハラーム）が含まれていないことを確認する必要がある。そのための手法は世界各国で研究され、開発されているものの、そのターゲット成分が限定的であることもあり、まだ精度に課題があるのも現状である。そこで東京農業大学では豚由来成分をモデルケースとして網羅的な成分分析に基づく新たなハラール検査手法の開発を試みているので紹介する。